



☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

7月3日は 涼味たっぷりのわんこそーめん流し

季節の移ろいは早いもの。もう気分だけは梅雨も終わってすっかり夏。そこで、ふじやま公園のイベントの中でも一、二を争う人気の「わんこそーめん流し」が7月3日(日)に行われます。去年は雨にたたられ中止になってしまいましたが、今年はその分もいっぱい食べましょう。昭和33年に宮崎県で始まったそうめん流しはふじやま公園で大きく、衛生的に進化しました。大きな青竹の中を、波にゆられながら流れるのはカップに入ったソーメンなのです。



また、ふじやま公園の夏の風物詩のひとつ、「七夕飾り」が7月1日(金)～7日(木)まで開催されます。古民家縁側から大きく天を仰ぐと南北に流れる天の川。そこでは織姫と牽牛の二つの星が年に1度のめぐり会いの準備に余念のないことでしょう。

こちら側の古民家主屋縁側では、夏の風物詩をかたどったさまざまな飾りや短冊などを吊るして、2つの星のめぐり会いを祈り、また私たちの願いをかなえて下さいと祈ります。みんなも短冊に自分の願いを書いて飾ってみましょう。7月3日(日)には、お持ち帰り用に竹を用意しますので、家に帰って家族中で願いを書いて吊るして下さい。またこの日、小さなお子さんには、野菜・魚釣りゲームもあり、大いに賑わいます。

<わんこそーめん流し>

7月3日(日) 11時～12時 雨天中止

食券200円(10時半から販売) 定員150名、当日先着順



ある日の雨の後、長屋門前の水路に大きな流れが出来ていた。水源があるわけではないの



で、降った雨だけが集まって流れていたのだ。いつもこのくらいの水量があれば、ホテルなどの小さな生物や小魚などが生きられるだろうし、水がたまれば池やたんぼも…と可能性が広がる。小さくても山のとっぺんとその周辺だから水源はその麓になってしまうだろうし、夢で終わってしまうのだろうが、水というのはなんとなく心を癒してくれるものだなあ、いいなあ…と梅雨の楽しみを見つけたような気がした

★東海道歴史探訪 ～青物横丁から川崎～

6月1日(水)曇り空とはいえ風が無く国道15号を往来する車の音が一層暑さをかきたてました。この日の参加者26名。名実共に60代を自負?している健脚で探求心旺盛の70代の仲間たち。スタート早々、天祖・諏訪神社の山門脇にパワーを貰えそうな大イチョウの樹、幹回り5m超え、樹齢約600年とか。大経寺の先に鈴ヶ森処刑跡がありました。1651年から220年間



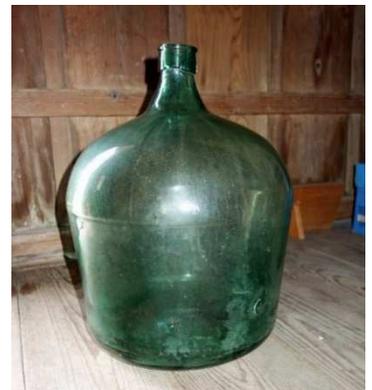
歌川広重 東海道五拾三次「品川日之出」

に10~20万人もの罪人が処刑されました。歌舞伎や講談などで有名な白井権八や八百屋お七もここで処刑されたとか。隣接する大経寺では檀家を持たず受刑者の供養を行っています。訪れたさいは合掌致しましょう。「鈴ヶ森」と呼ばれる由来の磐井神社では鈴石があるということで皆でそれらしい石を撫でてみましたが鈴の音の反応はなし、どうやら大切に収めてあるらしい。次回は7月、川崎宿を訪ねます。

古民家Q&A ロケット戦闘機の燃料の瓶

Q: 古民家長屋門穀倉にある水色の瓶はなんですか?

A: 第二次大戦末期に開発されたロケット戦闘機「秋水」の燃料の一つ「甲液」の貯蔵・運搬用の瓶です。秋水は高度1万メートル以上で飛来するB-29を迎撃するために開発されました。ゼロ戦など従来のレシプロエンジンでは上昇や戦闘が不可能に近く、酸素を自ら持つロケットエンジンが望まれ開発が行われました。秋水は酸素源として過酸化水素(甲液)と燃料としてヒドラジンとアルコール(乙液)が用いられました。甲液は腐食性が強く金属容器は使用できず、ガラスなどの無機材料が利用されました。当時小菅ヶ谷にあった第1海軍燃料廠で研究が行われ、終戦後この瓶が持出されたものと思われ、当公園に持込まれた経緯ははっきりしません。直径約30cm、液収容部の高さ約25cm、内容積約20リットルです。



珍しい戦争遺物の一つです。

《ふじやま公園特製竹炭の販売が好調です》

本郷ふじやま公園里山部会は愛護会と協力して竹林の整備を進めています。伐採した竹材のほとんどは炭焼窯で竹炭にしています。炭焼きは近隣の小中学校の校外授業や職場体験の場にもなっています。1回の炭焼きで100kg前後の竹炭が出来ます。これを約15cmの長さにそろえ、200gずつポリ袋に入れ1袋100円で販売しています。昨年度は280袋が、今年度はすでに170袋が売れました。売上金は赤十字社に寄付し、災害地への義援金としています。



竹炭は内部に無数の細かい孔が形成されており、吸着作用があります。靴箱などの脱臭剤、乾燥剤さらには土壌の改良剤として利用されます。ぜひご活用ください。



ウメの実 バラ科



「桜伐る馬鹿、梅伐らぬ馬鹿」という対比した言葉があるがウメの樹は剪定をして切つめないと雑然となり実の付きも悪くなる。3月、花が咲き下旬には小さな実を付ける。5月、実は膨らみエメラルド色から黄色みをおびてくる。その間、余分な実は自然落下するが、これは、能力以上の実がついていると判断した樹々の調整機能の一つ。樹の勢いがよく葉がよく茂っている樹は余り落下しない。梅雨の時期、当園ではウメ落としが始まり美味しい梅干しとなる。

《全国ネット番組でふじやま公園の土間が紹介される》



本紙第159号古民家Q&A「たたき」において掲載しました古民家の土間が、5月22日の日本テレビ番組「鉄腕DASH」で放映されました。放映の時間は2秒にも満たない瞬間的なものですが「本郷ふじやま公園」の名称が全国ネットで流れました。番組は水路をたたきで作るものです。うまくできることを願って注目したいものです。

『いろいろ辺雑記』 から (原文のまま)

- ・とても歴史ある場所でせつめいもわかりやすかったです (県内10代 家族と)
- ・たけとんぼがたのしかった (市内 10代)
- ・たけうまが上手にできてうれしかった (県内 10代 家族と)



平成28年7月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	1日(金)	古民家歴史部会 部会	10日(日)
農芸部会 部会	14日(木)	古文書解読勉強会	休みます
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	6日(水)
里山部会 作業	9日(土) 16日(土)	クリーンアップ	5日(火) 19日(火)
	24日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	13日(水)	ふじやまだより編集会議	7日(木)
子ども工作準備	適時	印刷	12日(火)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	31日(日)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡下さい。

楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
子ども工作	8月21日(日) 10時～11時 " 13時～14時	端材の板でペン立てを作ろう	無料	当日受付 各10名 小学生

- (1) 応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ
(2) 応募者多数のときは抽選 (3) 持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★ いろいろ端むかし話の会

いろいろの火を囲んで神奈川や日本のむかし話を楽しんでみませんか。

日 時：7月21日(木) 10時30分～11時30分

場 所：古民家主屋いろいろ端 定 員：15名 当日参加自由 無料



★ 七夕飾り

古民家主屋縁側に笹竹を立掛けます。短冊に星への願いを書いて笹竹に飾りましょう。

日 時：7月1日(金)～7月7日(木) 6日(水)は休館日です 場 所：古民家主屋縁側

★ わんこソーメン流し

日 時：7月3日(日) 11時～12時 雨天中止 場 所：古民家前庭

定 員：150名 食 券：200円 販売は10時半から 当日先着順

子ども用の野菜・さかな釣りゲームがあります。

ご家庭用七夕飾りの竹の小枝を差し上げます(数には限りがあります)。

★ 公園内の鳥類などの生息調査

公園内樹林地の保全管理計画に向けて、公園内の鳥類及びほ乳類の生息調査が行われます。

実施日 5月22日、6月1日、6月16日、7月4日

また、植物、昆虫類の調査も予定されています。

★ 登録ボランティアを募集しています

江戸時代の名主の屋敷を中心にした本郷ふじやま公園では、伝承行事の開催や手づくりが楽しめる工作棟があります。ご自分の希望に合った活動の場(部会)をお探しください。

広報(ふじやまだより発行・H/P公開)、古民家歴史(歴史探訪・古文書解説)、里山(竹林整備・炭焼き)、工作棟(各種の体験教室)、農芸(農園と花壇)、囲炉裏焚き、クリーンアップの部会があります。お問合せは事務所へ直接か、下記電話番号へ。

★ 5月ふじやま公園来園者数 5月度来園者数2,778名 28年度累計：6,680名

- | |
|---------------------------------------|
| ・開 館 時 間： 9時～17時 |
| ・入 館 料： 無 料 |
| ・休 館 日： 毎月第1水曜日 (7月6日) |
| ・クリーンアップ：毎月第1・3火曜日 10時～11時 (7月5日・19日) |



本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：896-0590

FAX：896-0593

<当公園QRコード>